

## 三島ダム洪水吐復旧工事検討会 議事概要

1 日 時 平成30年7月27日（金）10時から15時

2 場 所 三島ダム現地及び管理事務所（君津市正木152）

3 議 事

- ・漏水事故の概要及び現状
- ・現地調査
- ・想定される原因
- ・対策工の考え方 等

### 4 検討会構成

委員長 たなか 田中 ただつぐ 忠次 東京大学名誉教授

委 員 たかはし 高橋 ていいち 禎一 元農林水産省地質官

委 員 なつか 長東 いさむ 勇 島根大学名誉教授

委 員 たがしら 田頭 ひでかず 秀和 （国研）農業・食品産業技術総合研究機構  
農村工学研究部門施設工学研究領域  
施設構造ユニット ユニット長

事務局 千葉県農林水産部耕地課事業計画室

## 5 議事概要

検討会では、これまでの概要を説明した後、現地調査を行い、以下のとおり会議を開催しました。

1) 事故の原因等について以下の項目の報告を行いました。

- (1) 漏水事故の概要及び現状
- (2) 現地調査
- (3) 想定される原因
- (4) 対策工の考え方

2) 事故のメカニズムの究明や今後の対応について、以下のとおり委員から指導及び助言をいただきました。

### ① 原因の究明②地山の評価

現在の情報では、一義的なものとして水圧が原因であったのか、また地山の変動も否定できない等、正確な評価を行えない。したがって、

- ・地山材料の力学的な試験等を追加して調査すること。
- ・地山の変動によりクラックが発生したのか等、数値モデルで解析すること。

### ③ 抜本的な対策

- ・コアリング等追加調査を実施し、そのうえで地山の評価をすべき。

### ④ 今後の応急対策

- ・切欠部の早期の対策として、ロックボルトは効果が期待できる。
- ・深さについては、既設のロックボルトの深さより深い位置とすべき。

### ⑤ その他

- ・計測は、側水路への漏水の有無、クラックの幅の計測等、複数チェックをすべき。